

高度成長期であった昭和という時代。世の中は戦後から経済も回復して一気に活力をおび、消費の時代へと駆けぬけました。
養蚕が盛んで絹織物の産地として有名な群馬県伊勢崎市で生まれた著者は、子どもの頃の思い出といえば桑畑に囲まれた家には蚕棚があり、蚕だらけの環境。父は農業にたずさわりながら美術活動もしており、祖母は繭から絹糸を採集し、糸車を回していましたし、母は伊勢崎紉の機織りで家計を助けていました。一家総出で絹織物産業に従事していたのです。そんな土壌から芽が出て、長い時間をかけて一冊の本が生まれました。『昭和のきもの』という本です。

『昭和のきもの』 小林真理

— 伝統と革新の美と技 —

出版記念講演会



『昭和のきもの』

小林 真理 (こばやし まり)



京都芸術大学大学院客員教授。
日本図書設計家協会前会長。
日本文藝家協会正会員。
1985年、企画制作会社
(株) スタルカ設立、主宰。
アートディレクター、画家、
美術ジャーナリスト。
「画家の装幀」「うるしのうつわ」
などのテーマで新聞連載や執筆、
講演活動が続けている。

主な著書、編書に『和のうつわ』（平凡社）
『芹沢銈介・装幀の仕事』（里文出版）
『能面の見かた』『漆芸の見かた』（誠文堂新光社）
『画家のブックデザイン』（誠文堂新光社）
『陶芸の美』（芸術新聞社）
『柚木沙弥郎・美しい本の仕事』（パイ インターナショナル）
『昭和のきもの』（淡交社）など
日本の手仕事を紹介する本が多数ある。

◎主な講演会

「石川の漆芸文化を知る」日比谷図書文化館／広島市立図書館／伊勢崎市図書館 など
「日本文学と近代装丁史」青山学院大学／奈良県立図書館情報館／土浦市立図書館 など
「画家の装幀」印刷博物館／日比谷図書文化館／小郡市立図書館／かごしま近代文学館 など
「画家のブックデザイン」女子美術大学／大妻女子大学／尾道市立大学／桑沢デザイン研究所



『昭和のきもの』小林真理 著

出版社 | 淡交社
発売日 | 2026年7月28日
仕様 | B5判、240頁（カラー240頁）
ISBN | 978-4-473-04664-2
定価 | 3,960円（税込）



2026年 11月14日（土） 午後3時～5時

伊勢崎市図書館 2階集会室【申込不要】



本をひらけば ひろがる世界
伊勢崎市図書館

伊勢崎市曲輪町22-21
TEL 0270-23-2346



図書館
ホームページ